

カワウの標識調査の啓発活動の例

三田市立有馬富士自然学習センター 片岡優子

有馬富士自然学習センターにて、鳥類調査の実際について来館者に紹介するのに、カワウの標識調査が適当と考え、展示を行いました。発表では展示を行うに至った経緯、展示の内容等をお話したいと思っています。

* 三田市立有馬富士自然学習センターで実際に展示しているパネルを縮小したものです。



朝目がさめるとスズメやヒヨドリの声が聞こえませんか。このように鳥は人にとって最も身近な生きものといえるでしょう。しかし、鳥は虫のように勝手につかまえたりすることはできません。そんな鳥たちの生態はどうやって明らかにしているのでしょうか？いつもいるスズメやカラスは同じ個体でしょうか？ちがうのでしょうか？それでは、カワウの調査を例に鳥の生態調査の実態を見てみよう！

カワウの生態調査の実態

カワウってどんな鳥？

みなさんはカワウを知っていますか？三田では武庫川で見かけたりします。



調べよう (定点観察法)

場所を動かずに観察することを定点観察法といいます。カワウが1時間に何回来るか、何分滞っているかや何時何分にどちらの方向から何羽やってきたかを調査するのに使います。



カラーリング

しかし、カワウについてほとんど何もわかっていないままです。琵琶湖で駆除が始まったことで別の場所のカワウが増えたとみえたりもしてきました。さて、実態はどうなのでしょう？カワウにカラーリングをつけてどこでどのように暮らしているかを調べることになりました。

カワウは集団で子育てしたり、ねたりします。そのためフン害がひどく問題になっています。琵琶湖では駆除活動が行われています。

カラーリング作成用のキット

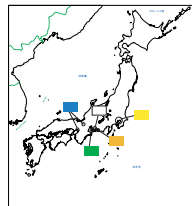


琵琶湖・琵琶湖池用カラーリングは手作りです。



琵琶湖・琵琶湖池用

標識した場所とカラーリングの色



それぞれに番号が入っているので、どの個体かいつ、どこで標識されたかもわかります。

カワウは様々な場所ですら調査されています。場所によってカラーリングの色が異なります。

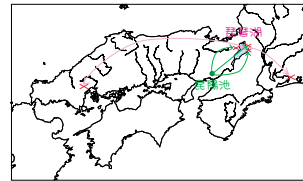
さがしてみようカラーリングつきカワウ

琵琶湖でもカワウのカラーリングをつけています。カラーリングをつけたりすることは無理ですが、みんまでカワウのカラーリングつきカワウを見つけたら、この調査に参加できます。みんまでカラーリング付きカワウを探してみよう。もししたら、そのカワウは関東からきてるかも？！

カラーリング付きカワウを見つけたら・・・
Eメール: wadat@mus-nh.city.osaka.jpまで連絡しよう！

また、大阪市立自然史博物館の和田学芸員HP
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ 和田の鳥小屋
にたくさんのカワウ情報が掲載されています。
アクセスしてみよう！

カラーリング個体の発見結果



湖川池・片岡池・福田池・和野池 琵琶湖と竹生島にあるカワウのコロニーにおける標識調査状況

これは一例に過ぎません。もっともたくさん情報がよせられています。和田の鳥小屋を見よう。

カワウの衛星追跡

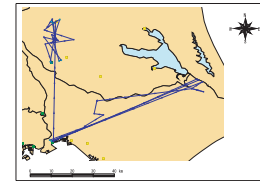
衛星追跡とは人工衛星から移動を追跡するもので、送信機を鳥に取り付け、送信機から送信される電波を人工衛星が受信し、場所を特定するものです。



発信器をつけたカワウ

財団法人日本野鳥の会 自然保護室提供

衛星追跡の結果

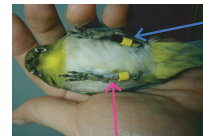


環境省(2004)特定鳥獣保護管理計画技術マニュアル(カワウ編)

2003年3月7日～3月14日間追跡した結果、かなり遠くまで移動しているのがわかりました。しかも、目的の場所まで一直線に飛んでいるようですね。

小さな鳥の場合は？

カワウは大きいので衛星追跡が可能です。しかし小さな鳥には衛星追跡用の道具は重すぎです。では、どうやって調べているのでしょうか？



カラーリング

環境省の足環



ルリビタキ

下の展示ケースの中にある足環をつけて調査しています。これは環境省が山階鳥類研究所というところに委託して小鳥の移動(渡り)の調査を実施しています。この調査には標識する技術を習得した全国にいるたくさんのボランティアによって行われています。カワウのように毎日のことはわかりませんが、日本にやってくるツバメがインドネシアのジャワ島で冬を越していることがわかるなど、さまざまなことがわかってきています。

カワウのように、みんなでカラーリング個体を見つけるというのは難しいですが、なわばりをつくる鳥はどのような環境にどんなか関係しているかを調べるのに個体識別は有効です。

環境省の足環をつけた鳥を見つけたら・・・

それは鳥類の渡りや生活、鳥の一生、死因などについて、多くの情報を提供してくれます。山階鳥類研究所まで連絡しましょう。

見つけたら以下のことできるだけ知らせよう。
回収者：氏名
連絡先：住所・電話番号・FAX
足環の番号、記号、文字の全て
回収年月日
回収場所
種名
鳥の性別・年齢・回収したときの状況

連絡先
山階鳥類研究所 標識研究室
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115
電話：04-7182-1107 FAX：04-7182-4342
Eメール：BMRC@yamashina.or.jp

* 須川博・片岡宣彦・植田潤・和田岳
琵琶湖と竹生島にあるカワウのコロニーにおける標識調査